

2021年度事業報告書

概 況

本年度は、大学生等の奨学金貸与事業から学資給与事業への一本化を実施して3年目を迎えたが、公益財団法人として広く公益に寄与する事業運営を行うべく、育英事業の適切、かつ円滑な推進を図るとともに、近年の教育費等の増嵩や厳しい資産運用環境を踏まえて、事業基盤の一層の強化を図り、事業内容の充実・改善に努めた。

I. 事業状況

1. 学資給与事業

本年度の学資給与事業は、前年度と同様に、幼児給与金については月額12,000円、小学生給与金は月額13,000円、中学生給与金は月額24,000円、高校生等給与金（特別支援学校含む）は月額30,000円、大学生等給与金は月額50,000円を給与した。

また、入学記念品代として、小学校新入生については1人70,000円、中学校及び高等学校等の新入生は1人50,000円、大学等新入生は1人150,000円をそれぞれ贈呈した。

(1) 奨学生採用状況

奨学生願書は年4回受付け、これを奨学生選考委員会に諮問し、採用を決定した。

本年度の採用状況は、表-1のとおり、前年度からの継続奨学生161人と新規に35人を採用したが、大学生等に中途退学した者が4人（異動欄）出たことから、年度末現在数は192人となった。

表-1 2021年度学資給与奨学生採用状況

(単位：人)

区 分	継続者	新 規 採 用 者					異 動 (増・減)	年 度 末 現 在
		第1回	第2回	第3回	第4回	計		
幼 児	1	2	2	2	0	6		7
小 学 生	32 (1)	1	0	2	0	3		35 (1)
中 学 生	37	0	1	0	0	1		38
高校生等	50 (4)	1 (1)	1	0	0	2 (1)		52 (5)
大学生等	41	19	3	1	0	23	△ 4	60
計	161 (5)	23 (1)	7	5	0	35 (1)	△ 4	192 (6)

注：（ ）の数字は特別支援学生で内数である。

(2) 学資給与の実績

学資給与金は、3カ月分ずつ年4回に分け総額73,244,000円を送金した。この内訳は、幼児給与金948,000円、小学生給与金5,226,000円、中学生給与金10,920,000円、高校生等給与金19,050,000円、大学生等給与金37,100,000円である。

(3) 入学・卒業記念品の贈呈

入学記念品として、総額4,610,000円を贈呈した。この内訳は、小学校新入生に210,000円、中学校新入生に450,000円、高等学校等新入生に800,000円、大学等新入生に3,150,000円である。

また、中学校卒業生（中学校を卒業し就業する奨学生）に対する卒業記念品の贈呈については、該当者はいなかった。

なお、これらの学資給与事業は基本財産運用益および修学助成資金積立資産（修学助成寄附金）をもって実施した。2021年度都道府県別奨学生数及び給与額は、別表(1)のとおりである。

2. 奨学金貸与事業

2019年度から学資給与事業へ一本化されたことにより、新規の貸与は発生しない。2018年度までの奨学金貸与金については、規程に基づき返還手続き及び処理を行った。

奨学金貸与金返還等の実績

奨学金貸与金の本年度返還実績は、表－2のとおり総額21,413,950円である。

前年度末の奨学金貸与金残高は260,360,920円、本年度奨学金貸与金返還総額は21,413,950円で、本年度返還免除額は対象者1人で217,000円であることから、本年度末現在の奨学金貸与金残高は238,729,970円となった。

表－2 2021年度貸与金返還等の状況
(単位：人、円)

区 分	実人数	金 額
A. 前年度末奨学金貸与金残高	287	260,360,920
B. 本年度奨学金貸与金返還総額 (内返還完了者)	166 (18)	21,413,950
C. 本年度奨学金貸与金返還免除額 (特別免除) (免 除)	1 (1)	217,000 (217,000)
D. 本年度末奨学金貸与金残高 (D = A - B - C)	268	238,729,970

3. 育英事業の推進に必要な事業

(1) 募 金 活 動

漁船海難遺児を励ます全国協議会や水産関係団体等の協力を得て、基盤強化を図った。

(2) 普及指導活動

ア. 「育英会だより」の発行

年4回各4,500部発行し、遺児家庭、JFグループ及び関係方面に広く配布した。

イ. 広報・募金コーナー設置

本年度は、新型コロナウイルスの感染拡大や収束が見通せない状況の中、各種イベント等の中止や縮小が相次ぎ、会場における広報・募金活動が十分に行えなかった。

ウ. 奨学生・保護者交流活動の実施

毎年夏休みに実施している「ふれあい旅行」については、実施する方向で検討をしたが、新型コロナウイルスの影響により昨年に引き続き開催を見送った。

エ. 広報活動

事業の趣旨及び内容について広く一般国民の理解を得るため、機会あるごとに資料の配布や報道機関等の協力を得てPRを行い、募金及び「励ましおじさん・おばさん」の募集に努めた。

また、ホームページを更新して、情報発信の強化を図った。

(3) 実 態 調 査

中学校、高等学校等及び大学等の卒業生の進学・就職に関する動向等、卒業後の進路を調査した。

II. 寄附金、基本財産、特定資産

1. 寄附金（修学助成寄附金）

(1) 水色の羽根募金

本年度の寄附金は、昨年と同様に新型コロナ禍の影響によるイベント等での募金活動が十分に行えない中、表-3のとおり38,578千円の実績となった。計画対比77.2%（計画50,000千円、前年実績95,829千円）

表-3 2021年度一般寄附金実績
(単位：円、%)

区 分	金額	構成比
J F グ ル ー プ 募 金	15,067,895	39.1
一 般 寄 附 金	23,510,235	60.9
合 計	38,578,130	100.0

(2) 励ましおじさん・おばさん奨学資金

定期的に支援いただく「励ましおじさん・おばさん」については、前年同様に募集を行った結果2,930,000円となった。計画対比83.7%（計画3,500千円、前年実績、2,958千円）

なお、年度末現在数は77人（前年度77人）であった。

2. 基本財産

基本財産は、本年度期首額5,958,235,786円に対し、表-4のとおり本年度期末額5,958,699,175円となった。

表-4 2021年度期末基本財産額
(単位：円)

本 年 度 期 首 額	5,958,235,786
投 資 有 価 証 券 償 還 額	600,000,000
投 資 有 価 証 券 購 入 額	600,000,000
投 資 有 価 証 券 当 期 償 却 額	463,389
本 年 度 期 末 額	5,958,699,175

3. 特定資産（修学助成資金積立資産）

特定資産の修学助成資金積立資産は、本年度期首額321,094,835円に対し、表-5のとおり本年度期末額323,813,401円となった。

表-5 2021年度期末特定資産額
(単位：円)

本 年 度 期 首 額	321,094,835
本 年 度 増 加 額	63,576,554
本 年 度 減 少 額	60,857,988
本 年 度 期 末 額	323,813,401

本年度期末額323,813,401円の内訳は、投資有価証券115,169,995円、預貯金208,643,406円である。

以 上